

参院災害特 仁比議員 被災地の声届け 国を動かす 民地の土砂撤去、木造仮設など取り上げて

8月2日、仁比聡平参議院議員は参議院災害特別委員会において、広島県、岡山県倉敷市真備町の被災地の声を取り上げ「これまでの枠を超えた取り組み」を求めました。

政府は、仁比議員の質問に対し、民地の土砂の撤去を国交省と環境省が一体的に進めること、事後精算が可能なこと、空き家や縁の下の土砂の撤去も公費撤去をすること、など国の答弁を引き出しました。

さらに仁比議員は、仮設建設の際、地域のコミュニティを大切にすること、そのためにも木造仮設の建設促進を求め、政府も前向きな姿勢をしめしました。

仁比議員は、中小企業へのグループ補助適応、農業を続けていく意欲が持てる被災農家への支援を求めました。



広島市議団 被災者に寄り添って17項目の申し入れ 罹災証明に準ずるものの発行 撤去費用の事後精算など



広島市議団は31日、市当局に対し、17項目の申し入れをしました。(写真)

申し入れでは、「ワンストップ型の被災者支援窓口においては、被災者から被災の状況を聞き取り、個別の課題をつかみ、その場で全ての必要な支援策が活用できるように手続きを済ませる体制にすること」「市営住宅は、安芸区内が極端に少なく、また、民間仮住宅は自分で探さなくてはなりません。障がい者や高齢者など自分で見つけるのが困難な世帯への援助をおこなうこと」「民家のがれき撤去の費用を事後精算できるようになっていることを現場に徹底すること。また、公道の土砂撤去を町内会が業者に頼んだ場合の撤去費用も行政が事後精算できるようにすること」などを求めています。

障がい者や高齢者など自分で見つけるのが困難な世帯への援助をおこなうこと」「民家のがれき撤去の費用を事後精算できるようになっていることを現場に徹底すること。また、公道の土砂撤去を町内会が業者に頼んだ場合の撤去費用も行政が事後精算できるようにすること」などを求めています。

仁比質問視聴は <https://youtu.be/voEMZbk0EJM>